



コンプレッサーの取扱方法

運転中の取扱方法



各機種により運転方法が多少異なります。運転方法は全ての機械に記載されていますので、その順序に従ってご使用ください。



運転中または停止直後に下記の所は絶対あけないでください

- (1) レシーバータンクの注油口
- (2) レシーバータンクドレンコック
- (3) ラジエータ注水口
- (4) ラジエータドレンコック
- (5) エンジンオイルドレンプラグ

EFPA (自動エア抜き装置)

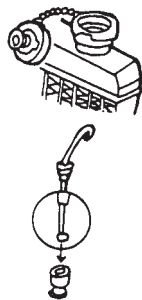
万一、燃料切れで停止したとき、燃料補給後のエア抜き操作は付属の電磁ポンプで自動的にを行います。(ウォータセジメンタ内のドレン抜きや燃料フィルタを交換した場合にも、同様の手順でエア抜きを行ってください。)

〈手順〉

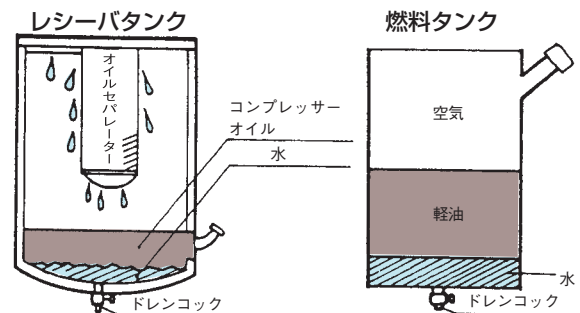
- ① 燃料を補給してください。
- ② スタートスイッチを運転位置に回すと電磁ポンプが作動し、燃料配管内のエアを自動的に排出します。
- ③ 40～50秒でエア抜きが完了します。

始動前に、次の個所を必ず点検してください。

- (1) 冷却水はありますか
- (2) エンジンオイルは適量ですか
- (3) コンプレッサオイルは適量ですか
- (4) レシーバータンクの水抜きはしましたか
- (5) エアクリーナーは汚れていませんか
- (6) 燃料は入っていますか(軽油)
- (7) ファンベルトの張り具合は適正ですか
- (8) バッテリーの液はありますか
- (9) 油洩れ、水洩れはありませんか



レシーバタンク内・燃料タンク内のドレン排出方法



レシーバータンクの下部にあるドレンコックを開き溜水を排出し油が始めたら直ちにコックを閉じてください。

燃料タンクの下部にあるドレンプラグを開き溜水排出してください。

エンジンの凍結を防ぐために冷却水に不凍液を入れてください。

温度	-℃	-10	-15	-20	-25	-30
不凍液の混入量	%	25	30	32	35	40



エアツールの取扱い

エアツールは取扱い、保守点検の適否により、その耐久性、性能、作業効果に著しい影響を与えます。新品同様の性能を長期間維持する為にも、下記事項をご注意の上で使用ください。

コンプレッサーについて

エアツールは通常ゲージ圧力を、5～7kg/cm²の間で使用されるよう設計製作されております。ツールが作動している間は、各機種毎仕様欄の空気消費量を必要とします。従ってコンプレッサーの空気吐出量は、同時に使用しているエアツールの空気消費量の和より多くなければなりません。理想的には配管ロス、圧力低下等を加味し、全消費量より20%程度吐出量の多いコンプレッサーを選択されることが望ましく、吐出量が不足するとエアツールの能力低下を起します。一般的にコンプレッサーの1m³/min吐出量に対するエンジン馬力は約10馬力です。余裕のある馬力のコンプレッサーをお選びください。

給油について

エアツールの使用上、最も大事なことは給油です。

現場にて始動しない、十分な性能が出ないといったトラブルは油に起因している場合がほとんどです。

リョーキでは点検・試運転を行いエアツールを出荷しておりますが、作業開始毎に必ず潤滑油を給油していただきますようお願いいたします。

機 種	潤滑箇所	推奨油	給油方式	給油量・頻度	給油口
コンクリート ブレーカー 各種小型・大型 ハンマー	バルブ・ピストン 等の摺動面	ロックドリルオイル 15℃以下#32 15～25℃#100 25℃#150	ラインオイル または手差し	手差しの場合 約3cc 2回/1日以上	油栓または ホース口
さく岩機 ハンマードリル	バルブ・ピストン 等の摺動面		ラインオイル L0-150の場合 1時間15分毎	1分間2cc	油栓または ホース口

防塵・防錆・凍結について

エアツールは微細な塵埃や水分でも、場合によっては作動不能等の悪影響を受けます。給気ライン中にエアフィルター（ドレンセパレータ）やラインオイルを必ず常設してください。また、オイル内の油量点検を毎朝行ってください。冬場は圧縮エア内の水分が凍結しやすいため注意してください。

管理・定期点検について

エアツールの各部品は精密加工されております。投げたり、落したり、乱暴な取扱いは決して行わないでください。

また、土砂やゴミがツール内に絶対入らぬ様心掛けてください。定期的に点検整備することは耐久性を増し、作業能率を向上させます。

エアツール使用可能台数

エアツール 空気消費量 (m ³ /min)	チッピング ハンマー AA-1.3B	ピックハンマー TCA-7	コンクリート ブレーカー TCB-130B	コンクリート ブレーカー TCB-200	コンクリート ブレーカー TCB-300	ロートハンマー TH5-S	ハンマードリル NRH-1	削岩機 TJ-15	レグドドリル TJ-20SBL
コンプレッサー 吐出空気量	0.45	1.00	1.05	1.50	1.60	0.85	0.70	1.60	2.40
15HPクラス (1.5m ³ /min)	1～3	1	1	1	—	1	1～2	—	—
20HPクラス (2.1m ³ /min)	1～4	1～2	1～2	1	1	1	1～2	1	—
25HPクラス (2.8m ³ /min)	1～5	1～2	1～2	1	1	1～2	1～3	1	1
35HPクラス (3.7m ³ /min)	1～7	1～3	1～3	1～2	1～2	1～4	1～5	1～2	1
50HPクラス (5.2m ³ /min)	1～11	1～5	1～5	1～3	1～3	1～5	1～7	1～3	1～2

エアツールの使用可能台数は、エアツールのスペックやエアツールの種類により、異なる場合があります。また、エアホースの長さによっても変化します。